

「記憶とイメージ」

①

2000年あたりは一度、北九州へもどってきたことがある。~~あ~~かつて
 ●商店街にあって一角が土の地になっておいたのを目に
 して驚いてしまった。記憶をよびおこす具体的な建築物が
 消滅してしまっていた。~~あ~~その時、私はもう自分の頭の
 中では、あの空間、時間の記憶は存いのだし、~~あ~~どこにも外部
 には存在し得ないのだと思っていた。そうして~~あ~~と進められ
 て消滅した中ではかたや記憶のあり方を考えたりする時、
 operation tableが、地名をもとにした~~あ~~をこころでし
 ておける案内をうけたのだ。地名、言葉は場所、空間、時
 間と連動して存在しつづけている記憶再生装置のひこ
 つごありと、あるために再認識すると同時に、地名の響き
 、祭声をもつた暗いトンネルを通り、あつち場所時に
 行くことも可能存ことを知らされた。無論、過去ばかり
 へ向うトンネルがあるだけではなく、想像力を刺激して
 他の言葉、イメージを引きよせる、つながるトンネルもあるはず
 なのだ。

~~あ~~ひこころむきに~~あ~~存在の前へすすんで"UC"とP.ウーリ
 は言っている。たしかマウラー-ハンも同じよう存ことを言っていた。~~あ~~
 過去はたえず遠くへとう遠くへ、すがたを見ることは困難に
 存する。私たちが見ているのが、おぼろしく見てもいいのだ。単存子
 赤、青信号のような過去をみつつ、前へすすんで"UC"の存在が
 前方を私たちが見ている——目は頭のうしろにはついている
 から——のだ、必然物だが常に思わぬこと、想定外の事件
 が未来にはまじりつづける。ここは過去の風景は信号のような

いつか
 は、どなたもあつち
 善化せよ
 たい

背景にとけこませ、
点満に埋め込まれた。存のど身体の知覚を賞せよとあな
ければ、過去の風景から意味、予徴をつかみとることは出来ない

かつてハンカミンが「~~市街道路の中で書きとめられ、~~ ~~書きとめられ~~

「アゲシラウス、サンタニル」の中で「描いた天使のように」
はばたき、またまちはばたきと、たが断固として譲りしりてく
…(中略)…この道を歩むはよく知らぬ子のど、(進む方向に)向きを変え

こなく、…どこまでも譲りしりの姿勢のままこの道を出、
た」、譲りしりの姿勢のまま、過去を振り返りてくたが、
た反復を再所有、消化すたぬと同時たれを断念するとい

対立した運動を私たちが、ハンカミンにたつて身につけて、
を、あつたらのように(なく)はたつた方の
てた

「マド的生活者であつたければ、果敢あるて幼年時代
のさまたちのイージを意圖的に平べたに、
「1400000の、社会の存
回復不可能性をたつてを向ける」努力を実践すること「あり固
存」の「経験が…ありてくの子どもの姿をさつて決意しては、
さつたイージこそを捉えよ」とたつた。ハンカミンが言及
てはる作業とイージの確保の努力が、この不もたつた

て当然と、たつた地たつたに消滅にたつた空の土地
(い、さつた時代はたつたの)
も前だ思ひをたつたけである。

たつた地域、土地、生活の歴史とてはて代の歴史と「声をあげて言う
必要はたつたろう、まこと、内題は「さつたイージ」
二つ(たれを捉えよ)

回復不可能な歴史、状況の中で、あつたといふ「必然性」や「固有性」
をたつたさつとすたつた作業が、記憶を「イージ」とて形象化する
ことかてさつた。そのたつたたつた意味が、
(時間のたつた星座にたつた瞬間もあつたろう。)
(複数の)

「イージ化」の作業として

必要に存在する。

③

私の「イージ」を根拠として^{この}作業は、はじめは「やりごたひ」がある。
「~~1400~~社会的な回復の可能性も存在しない」と向ける姿勢
のため、私も「後ずさり」は存在しないと思う。

2012年5月

白川昌生

~~3月以後の地鳴りを奥南もつる~~
~~赤城山で~~